

児童発達支援ガイドラインによる自己評価について

2024年 1月
るんるんキッズハート

児童発達支援の質の向上と支援内容の適正化を図る為、
児童発達支援に基づき実施した自己評価の結果を公表致します。

回収率：保護者80%（28名/35名：回収数/配布数）
職員 100%（10名/10名）

《調査からの読み取り・改善点》

	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	昨年に引き続きいずれの項目においても高い評価をいただいたが、「生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。」の項目で、「どちらともいえない」「わからない」との声もあった。	毎日の清掃、消毒作業により清潔な空間が保たれるように配慮している。引き続き清潔な空間づくり努める。
適切な支援の提供	「活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか」の項目で、「色々な活動をして子どもも楽しそう」との声をいただいた。「障害のない子どもと活動する機会があるか」については「いいえ」「わからない」がほとんどだった。	固定化されない活動プログラムづくりは配慮・工夫を続け、子どもに合わせた活動を行っていく。障害のない子どもとの活動の機会は「なくても問題ない」という声もあるので今後も設ける予定はない。
保護者への説明等	連絡帳や送迎時、LINEでのやりとりだけでなく、1ヶ月ごとのお便り、HP動画で状況把握をしやすい。その時々困りごとや出来事を伝え、必要な事は共有できている。との声をいただいた。一方「保護者同士の連携が支援されているか」の項目で、他の保護者の方と交流する機会があまりないと感じる。という意見もあった。	今後も日頃のやりとりや毎月発行する新聞・HP動画で、子どもたちや活動の様子がわかるようにする。また、課題の共通認識についても意識していく。11月に初めて親子遠足を行い、好評いただいた。来年度より年に数回親子交流の行事を催す予定。
非常時等の対応	「非常災害に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか」の項目において、「わからない」の回答が半数だった。避難場所や避難後のやりとり（連絡手段・お迎えが必要か等）も不明。という声もあった。	年に2回（5月・11月）に水害・震災・火災を想定した避難訓練を実施している。避難場所や緊急時の対応について定期的に周知していく。
満足度	「子どもは通所を楽しみにしているか」「事業所の支援に満足しているか」では、ほとんどの方から「はい」と支持していただいた。まだ話せないで子どもの気持ちを直接聞けないという理由で「わからない」を選択されたご家庭もあった。お迎え来たよと言うと遊びをやめて急いで支度をするので楽しみにしているよう。お友達や先生に会えるのを楽しみにしている。行き渋る時もあるが、帰宅すると楽しかったと嬉しそうに話している。非常に満足している。との声をいただいた。	今後も満足していただけるような支援を心がける。また、子どもたちが楽しく通所できるようサービスの質の向上を図っていく。